

全国どこでも出張買取
バイク買取専門店「バイク王」TVCM完成！
CMは全部で4パターン
2月よりオン・エア開始

株式会社アイケイコーポレーション
2004年1月26日

株式会社アイケイコーポレーション（東京都渋谷区 代表取締役社長 加藤義博 03 5773-8500）では、バイクの買取専門店「バイク王」の全国展開を行っています。北海道から沖縄まで、全店舗直営店を構え、徹底した査定員の教育と、独自の査定システムの導入により、バイクユーザーの信頼を得ております。前年度は、買取台数約55,000台の実績を誇り、買取専門店では他に類を見ない業績を上げています。しかしながら、中古オートバイの流通整備の遅れからくるオートバイの不法投棄は少なくありません。これらのほとんどは地方自治体により処分されますが、中にはまだ十分乗れる車輛が数多くあります。廃棄手続き、処分費用等の点から不法に投棄されるものと推測されますが、このような現状を止めるべく、「バイク王」の買取システムが、流通市場の活性化に繋がるものと期待しております。

これまで、バイク雑誌を中心に新聞各紙、インターネット等にて宣伝活動をしていました。今回ボブ・サップ氏を起用したCMの展開で、バイクユーザーのみならず、一般ユーザーに向けて大々的な広告展開をすることで更なるシェア拡大を目指しています。



企画主旨

制作をおこなったCMは全部で4タイプ。『誕生篇』・『出張買取篇』・『安心査定篇』・『満足買取篇』の4タイプ共に、冒頭シーンではバイクを持上げ、「バイク買取りヤアアア！」と雄たけびを上げるボブ・サップ氏が力強く描かれ、同時に愛嬌たっぷりのシーンもあり、老若男女どなたにもわかりやすく「バイクを売るならバイク王にしよう！」ということを伝えます。

CM概要

『誕生編』 15秒

バイクの査定している査定員とライダー。「王様～、それ運んどいて～」と声をかける査定員。王様ボブ・サップ氏が「ハイハ～イ」と振り返りながら軽やかに返事をした後、難無くバイクを持上げる。バイクを持上げたまま、地響きを鳴り響かせ玄関から道路へとバイクを運び出す。「恐るべき買取パワー」というナレーションが入り、ボブ・サップ氏お得意の笑い声が高々と響き渡る。ラストカットはバイク王のロゴ、0120-50-8190の電話番号の画面になり「バイク売るなら、ゴ～バイク王～」とサウンドロゴが流れる。

『出張買取編』 15秒

家の前でバイクを売ろうと悩むライダー。そこでバイク王へ電話。コールセンターの女性が「ご自宅はどちらですか？」と対応。するとそのコールセンターの女性の顔が突然ボブ・サップ氏へと変化。シーン変わって、「来てくれるんですか～」と喜ぶライダー。シーンはまた、コールセンターの女性になり「お伺いします。英語で言うと・・・」でまたまた顔がボブ・サップ氏へと変化し、カメラ目線で一言「Go!」ラストカットは、無事ライダーの自宅へバイク王トラックが到着。バイク王のロゴ、0120-50-8190の電話番号と「ゴ～バイク王～」とサウンドロゴが流れる

『安心査定編』 15 秒

バイクの査定している査定員とライダー。「王様～」と、王様ボブ・サップ氏を呼ぶ査定員。するとモバイルパソコンとマウスを手のひらに乗せた王様ボブ・サップ氏が「ハイハ～イ」と答えながら査定員に差し出す。パソコンに車輛状態を入力する査定員。手のひらにパソコンのマウスがある為、査定員がマウスを動かす度にくすぐたくなってしまう王様ボブ・サップ氏。「パソコン査定で適性査定を調べます」のナレーションが入り遂に、我慢が出来ず手を揺らしてしまい、ガッパンとパソコンを落としてしまう。「バイク売るなら」とボブ・サップ氏の声が入り、ラストカットはバイク王のロゴ、0120-50-8190 の電話番号の画面になり「ゴ～バイク王～」とサウンドロゴが流れる。

『満足買取編』 15 秒

リング上で、格闘家に肩車をしているライダー。「バイク売って満足」というテロップと共に、「売って満足だ～！」とプロレス実況さながらのナレーション。同じように、格闘家に肩車をしている査定員「バイク買って満足」というテロップと共に、「買って満足だ～！」のナレーション。画面は王様ボブ・サップ氏を中心にみんなが満足し、ガッツポーズをしているシーンへ。ラウンドガールも現れ、ゴングが鳴り響く。そして、ラウンドガールのアップへ。「お電話下さい」という台詞と共に、掲げているプレートから飛び出るように、0120-50-8190 の電話番号が表示され、「ゴ～バイク王～」とサウンドロゴが流れる。

CM舞台裏

撮影は横浜の閑静な住宅街でのロケと、横浜スーパーファクトリースタジオでおこなわれました。撮影当日は今にも雨が降りそうな空模様で、何とか夕方まで雨が降らないようにと、スタッフ全員祈る気持ちで作業を進行してました。しかし、残念ながらお昼過ぎに雨が降り出してしまい、急遽予定を変更しスタジオへ移動となりました。スタジオでの撮影はボブ・サップ氏のバイクを持上げるシーンから始まり、特に問題なく順調に進行していきました。翌日は前日撮りきれなかったシーンの撮影をおこない無事クランクアップとなりました。両日とも気温が5 以上あがらず、ロケは非常に過酷なものでしたが、ボブ・サップ氏はそんな寒さにも負けず、お得意のピーススマイルで現場スタッフを和ましてくれました。

スタッフ一覧

代理店	株式会社 ガイアコミュニケーションズ
制作会社	株式会社 TCJ
企画	今井敬
プロデュース	鈴木正己 仁田功一
演出	今井 敬
編集	山本剛史
撮影	榎本 正使
照明	藤井 貴浩
VE	千葉清美
美術	酒匂生馬
仕掛	茅沼光明
特機	スクリー
スタイリスト	江島 モモ
ヘアメイク	矢野 真一 長野聡子 谷純子
タレント	ボブ・サップ 興津和幸 荒井泉 大塚良子 八幡えつこ 藤本裕介 富平辰文 (順不同)
ナレーション	櫻庭裕士
音楽	勝瑞順一 山田勝也
サウンド・エフェクト	中野豊久
ミキサー	灰原義晴